【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-512249(P2001-512249A)
【公表日】平成13年8月21日(2001.8.21)
【出願番号】特願2000-505552(P2000-505552)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｂ２９Ｄ　11/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ　220/26　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　7/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　1/04
Ｂ２９Ｄ　11/00
Ｃ０８Ｆ　220/26
Ｇ０２Ｃ　7/02
Ｇ０３Ｆ　7/00

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月29日(2005.7.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　活性化光線に曝されることにより硬化してプラスチック眼鏡レンズを形成するように構成されたレンズ形成組成物であって、
硬化してプラスチック眼鏡レンズを形成可能なモノマーと、
活性化光線の少なくとも一部が上記レンズ形成組成物を透過するのを阻止する活性化光線吸収化合物と、
上記モノマーの硬化を活性化して上記眼鏡レンズを形成するように構成された共開始剤と、
上記活性化光線の少なくとも一部に曝されることにより上記共開始剤を活性化するように構成された光開始剤と
を含むレンズ形成組成物。
【請求項２】　上記活性化光線吸収化合物が、フォトクロミック化合物を含む請求項１に記載のレンズ形成組成物。
【請求項３】　上記活性化光線吸収化合物が、２－（２Ｈ－ベンゾトリアゾール－２－イル）４－（１，１，３，３テトラメチルブチル）フェノール、２－ヒドロキシ－４－メトキシベンゾフェノン、２－［４－（（２－ヒドロキシ－３－ドデシルオキシプロピル）－オキシ］２－２－ヒドロキシフェニル］－４，６－ビス（２，４－ジメチルフェニル）－１，３，５－トリアジンと２－［４－（（２－ヒドロキシ－３－トリデシルオキシプロピル）－オキシ］－２－ヒドロキシフェニル］－４，６－ビス（２，４－ジメチルフェニル－１，３，５－トリアジンとの混合物、ポリ（オキシ－１，２－エタンジイル）とα－（３－（３－（２Ｈ－ベンゾトリアゾール－２－イル）－５－（１，１－ジメチルエチル）－４－ヒドロキシフェニル）－１－オキソプロピル）－ｗ－ヒドロキシとの混合物、α－（３－（３－（２Ｈ－ベンゾトリアゾール－２－イル）－５－（１，１－ジメチルエ

チル）－４－ヒドロキシフェニル）－１－オキシプロピル）－ｗ－（３－（３－（２Ｈ－ベンゾトリアゾール－２－イル）－５－（１，１－ジメチルエチル）－４－ヒドロキシフェニル）－１－オキソプロポキシ）、２（２－ヒドロキシ－５－メチルフェニル）ベンゾトリアゾール、エチル－２－シアノ３，３－ジフェニルアクリレート、およびサリチル酸フェニルからなる群より選択されるいずれかの化合物を含む請求項１又は２に記載のレンズ形成組成物。

【請求項４】　上記モノマーが、アクリルイルおよびメタクリルイルから選択されるエチレン性不飽和基を含有する不飽和ポリエチレン官能性モノマーを含む請求項１～３のいずれか１項に記載のレンズ形成組成物。

【請求項５】　上記共開始剤が、アミンを含む請求項１～４のいずれか１項に記載のレンズ形成組成物。

【請求項６】　上記光開始剤が、ビス（２，６－ジメトキシベンゾイル）（２，４，４－トリメチルフェニル）ホスフィンオキシドを含み、上記共開始剤が、Ｎ－メチルジエタノールアミンを含む請求項１～５のいずれか１項に記載のレンズ形成組成物。

【請求項７】　上記レンズ形成組成物が、約３０分以内に実質的に収差のないレンズに硬化可能である請求項１～６のいずれか１項に記載のレンズ形成組成物。

【請求項８】　プラスチック眼鏡レンズの製造方法であって、このレンズはレンズに活性化光線が当てられると少なくともいくつかの活性化光線を吸収するものであり、

請求項１～７のいずれか１項に記載の液体のレンズ形成組成物を、第１の型部材と第２の型部材によって規定される型キャビティ内に導入する工程と、

活性化光線を上記型キャビティに向けて送出し、上記レンズ形成組成物を硬化させて眼鏡レンズを形成する工程とを含み、この形成された眼鏡レンズが、レンズの使用時にレンズに活性化光線が当てられるといくつかの活性化光線を吸収するものである方法。

【請求項９】　眼科用眼鏡レンズを製造するためのシステムであって、

鋳造面及び非鋳造面を有する第１の型部材と、

鋳造面及び非鋳造面を有する第２の型部材であって、上記第１の型部材の鋳造面とこの第２の型部材の鋳造面とが少なくとも部分的に型キャビティを規定するように、上記第１の型部材から間隔を空けるように構成された第２の型部材と、

上記型キャビティ内に配置されるように構成された請求項１～７のいずれか１項に記載のレンズ形成組成物と、

活性化光線を発生して、これを上記レンズ形成組成物に向けて送出するように構成された第１の光線発生器と

を含むシステム。